



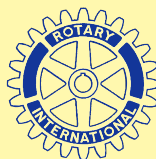
VOL. 2526

Rotary International

和のこころで...

第2526回例会 2016.2.3

ソング「四つのテスト」



富士ロータリークラブ WEEKLY

<http://www2.wbs.ne.jp/~fujirc/>

例会日:毎週水曜日 12:30
 例会場:ホテルグランド富士
 TEL(0545)61-0360
 事務所:〒416-0913 富士市平垣本町8-1
 ホテルグランド富士内
 会長:太田 義隆
 副会長:小出 隆久
 幹事:植田 眞晴
 副幹事:岸本 泰次

会長挨拶

太田 義隆

先週の例会終了後は、職業奉仕月の一環で富士宮市上
 柚野にあります富士錦酒造へ工場見学に行きまして参りました。
 工場では18代目当主の清 信一社長自らお出迎え
 していただきました。清社長は前社長の娘さんと結婚し
 婿入りしたそうで、結婚前は証券マンで結婚後改めて酒
 造のために東京農大へ進学しこの家業のために勉強した
 そうです。大変真面目な、また穏やかな口調の清社長よ
 り富士錦酒造の成立ちや酒ができるまでの工程等々を聞き、
 改めて日本酒作りの難しさを知り社会科勉強の1つ
 として大変勉強になりました。予てから富士錦酒造の酒
 は旨いことを知っておりましたが、造り酒屋での味見酒
 はまた格別な旨さがありました。これからも日本酒の旨
 い時期が続きますので富士錦酒造のお酒を嗜みたいと思
 っております。

最後に今回の工場見学にあたって尽力いただいた石橋職
 業奉仕委員長にお礼を申し上げます。

幹事報告

植田 眞晴

①例会変更のお知らせ

新富士RC 2月16日 IM振替休会
 3月22日 休会
 沼津RC 2月5日(金)休会
 2月12日(金)→2月14日 桐陽高校
 2月19日(金)→2月21日 IM

MU受付 11:30~12:30 沼津リバーサイドホテル

富士宮RC 2月19日(金)→2月21日 IM
 富士宮西RC 2月19日(金)→2月21日 IM

②ガバナー事務所より

- ・2月のロータリーレートは、1ドル=120円
- ・野口DGゴルフ大会開催のお知らせ

4月24日 富士桜カントリー倶楽部 締切り 2月24日

- ・次年度ロータリー手帳注文のお知らせ
ご購入ご希望

の方は事務局までご連絡をお願いいたします。

③会報回覧

京都洛南クラブ

親睦委員会

佐藤 昌久

会員誕生日	望 月 昭 宏	S33.2.4
	瀬 尾 究	S15.2.5
	小 出 隆 久	S23.2.9



お誕生日
おめでとう
ございます

☆私のスマイル

磯西 昭君 お蔭様で今年、満88才の米寿を迎えまた併
 せて富士クラブ入会50年、節目の年となり
 ました。これからも宜しくお願い致します。

太田義隆君 先週の職業奉仕委員会の富士錦酒造工場見
 学では、石橋委員長には大変お世話になり
 ました。日本酒はやっぱりイイですね!

宮下正雄君 先週の職場見学、大いに満足し、すっかり
 「富士錦」のファンになりました。

富士錦酒造職場見学会打ち上げ参加者一同
 美味しいお酒を堪能させていただきました。

藤尾 肇君 会員増強成果でました。

井出清章君 久しぶりに暖かい>天気です。こんな日
 はゴルフをやりたいです。

植田眞晴君 今日は節分。「豆まき」は私の役目。商売
 の「種まき」も私の大事な仕事です。

例会プログラム予告

2月10日 卓話

出席報告

佐藤 昌久

2526回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
28名	28名	5名	23名	82%

2524回 1/20確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
28名	28名	5名	23名	82%

会員卓話



望月紙業株式会社 代表取締役 望月 昭宏

「望月紙業の生い立ち」 (私の生い立ち)

富士市には多くの製紙会社がありますがそのほとんどが印刷紙、包装紙、板紙、一番多いのが家庭紙(トイレットペーパー)です。

弊社は色包装紙、建材用原紙、介在紙、紙紐原紙など主に古紙を使用しオーダーメイドで用途に合わせ小ロットで紙を製造しています。

一般の皆さんが目にするのはあまりなく、ショッピングバックの手提げの紙紐位です。

昭和23年頃より 祖父と父で自宅の片隅で紙紐、紙太紐等の生産を始める。

昭和33年2月4日 望月昭宏 現在の五条製紙の煙突がある場所で誕生する。

昭和37年 現在の場所に移転する。紙バンドの製造開始を始め高度成長期でもあり従業員が急速に増加しました。女工さん(18歳から20歳代)も多く、女子寮があり沢山かわいがってもらい楽しかった思い出があります。

昭和40年12月 望月紙業株式会社設立

隣接する柳田製紙を買収し製紙業に進出し製紙から紙バンドまでの一貫生産を目指す。紙加工がメインだった事と板紙製造で望月製紙さんがあったため屋号は望月紙業株式会社となりました。

昭和48年 紙のパニックになり全ての紙製品(B級品も含め)が売れてしまった。トイレットペーパーも融通してもらい販売し喜ばれました。父は高級外車を買って有頂天でしたが、この後すぐに心筋梗塞で倒れ、又紙バンドからPPバンドに替わったりと大変な時期になっていきました。

母は非常な苦勞し父の看病と会社、子育てと頑張り、危機を乗り越えて会社を守ってくれました。感謝しております。

昭和50年 電線用介在紙の用途や包装用貼合わせクレープ紙が急速に増加して梱包用紙バンドの落ち込みを補ってくれました。

昭和54年 東京の洋紙店に修行に行きました。バブルの少し前でしたが、紙関係や出版社のパーティーなどがあると高級店に連れて行かれ、田舎者の私は非常に驚きました。現在の業界状況とはあまりにも違いました。

昭和58年～60年 製造設備を改造し色ロール包装紙、住宅用断熱材用建材紙が成長して来ました。阪神大震災が起きるまでは大手グラスウールメーカーで大量に使用していましたが震災後1年半で全面的にフィルムに変わり、あっという間に市場を失いましたが廃業したライバルメーカーが仕事を譲ってくれたおかげで当社はダメージを受けることなくその後の優良顧客を獲得できました。
平成15年 紙紐原紙製造メーカーは昭和30年代22社、昭和55年8社そしてこの年にはほぼ1社となったために紙加工メーカーさんの要請で紙紐原紙の製造を再度開始しました。その後顧客を増やす中で、数年前より幹事の植田産業さんとのお取引が始まり現在に至っております。



編集者 野坂富士雄